

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎学力向上のための取組を行い、学力の向上を図る。
- 主体的・対話的で深い学びの研究を推進し、授業力の向上を図る。
- 家庭・地域との連携に努める。

4月

学力向上目標①

- さいたま市学習状況調査の算数の平均正答率を、令和元年度の値より5pt向上させた値にする。昨年度の評価の観点「数学的な見方や考え方」の値を基準として、「思考力、判断力、表現力等」の値を5pt向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

- ・朝学習の時間を基礎学力の定着のために活用する。
- ・対話的な学習活動を行うための授業展開の工夫を行う。
- ・家庭学習の手引きを作り、家庭との連携を図る。

開始期日

6月

具体的な手立て

- ・基礎学力定着プログラムや自校で作成したワークシートを学年ごとに準備する。(5月から開始)
- ・週に1回、ワークシートを活用した朝学習を実施する。(6月より実施)
- ・研修の時間を使い、授業展開の仕方の共通理解を図る。(6月より実施)
- ・学年ごとに系統立てた「家庭学習の手引き」を作成する。(6月より)

本年度の振り返り

- ・週1回の自作のワークシートによる朝学習を実施することで基礎学力の定着に取り組むことができた。
- ・授業実践を通して、課題解決に向けて、児童が主体的に考えることができるようになった。しかし、友達の考えを取り入れて新たな考えを生み出す力としての表現力をさらに伸ばす必要がある。
- ・家庭との連携については具体的な取組を行う必要がある。

達成度

2月

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・課題解決に向けての見方や考え方を共有し、それらを相手に伝えるための具体的な表現方法を身に付けることができるようにする。
- ・自主学習の習慣を身に付けるために、家庭学習にも力を入れて、家庭の協力を得る。